町の“いま”を伝える
広報いわてまち
Iwate-machi Monthly Public Relations Paper
No.643
1
2013[平成25]年

いきいき10周年！

草桁地区の「健康いきいきサロン」が10周年を祝いました。町の同サロンは、自治振興会の自主的な取り組みで高齢者がいきいきと暮らせる地域を実現しようと平成14年度にはじまり、現在は45地区で行われています。開始当初から取り組んだ草桁地区。「あっという間の10年だった」と振り返る皆さんの笑顔が、いきいきと輝きます（12月20日、働く婦人の家）

■主な記事

- 町長年頭のあいさつ…2～3ページ
- 広報紙面で見る町の出来事2012…4～5ページ
- 衆議院議員総選挙結果…6ページ
- 医療を守る住民会議…7ページ
- 申告納税相談…8～9ページ
- いわて沼宮内駅開業10周年ほか…10～11ページ
- 男女共同参画フォーラム…12ページ

岩手町長
民部田 幾夫

謹賀新年

2013年［平成25年］町長年頭のあいさつ

明けましておめでとうございます。

希望に輝く新春を皆さま健やかにお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、東日本大震災の復興への取り組みがようやく始まったものの、被災された皆さまにとっては、震災前の日常を取り戻すにはまだまだ困難な状況が続いているものと推察いたします。本町としてもでき得る限りの支援を継続して参ります。国にあっては、昨年末に新たな政権が発足しました。被災地の復興と今後の日本のかじ取りに期待したいと思います。

そのような中にあって、本町では野菜価格の低迷や農林畜産業の風評被害など、大変厳しい局面もありました。しかし、ふるさとの発展を願う町民皆さまのご支援の下、町政は全般においておおむね順調に推移することができました。ここに、関係各位のご理解とご協力に深く感謝を申し上げます。

また、本町において、町民に夢と希望、そして誇りを与えてくれた出来事がいくつかありました。その一つがロンドン五輪に女子ホッケーの日本代表として本町出身の田中泉樹選手が出場したことであります。昭和45年の岩手国体を契機に、ホッケーを町技と位置付け、小学生から壮年まで町民誰もがホッケーを気軽に楽しめる環境づくりと、競技としてのホッケー強化に取り組んできた本町は、北京五輪に続き、2人目の五輪選手を輩出いたしました。関係各位のご努力に敬意を表するとともに心から感謝申し上げます。

もう一つが本町で生まれ育った岩崎茂氏が、自衛隊のトップである「統合幕僚長」に就任されたことです。このことは、町民にとって大きな誇りであるとともに、岩崎氏には国のため、故郷のためにますます活躍されることを期待申し上げたいと思います。

お二人の活躍は、夢に向かって努力する町民の気質や町に根差した土壌の上で人一倍努力を重ね、さまざまな困難を乗り越えて得られた大きな成果であると推察します。そして、努力を重ねることにより、夢は夢でなく実現可能な「目標」になることを町の子どもたちに教えてくれました。

さて、明けて平成25年。町総合発展計画に掲げる将来像「めぐみの大地　笑顔が結ぶ　ひと輝く　健康福祉の　いわてまち」の実現のため、「未来を担う子どもたちを育むまちづくり」、「長寿の喜びと安心が目に見えるまちづくり」、「住み続けたい結いのまちづくり」という三つの基本理念の下、希望にあふれる未来と岩手町らしさが光るふるさとを次世代に継承すべく、渾身の力をもって町政の運営にまい進いたします。

本年が、町民皆さまにとりまして、素晴らしい一年になりますよう心からお祈り申し上げ、新年のあいさつといたします。

広報いわてまち
紙面で見る町の出来事
2012年［平成24年］

1月

1日　恒例の元旦マラソン大会が開催され、300人の参加者が新年の健康を願い走り初め（沼宮内地区）

3日　町消防出初式で消防団員ら約500人が無火災を誓う（役場駐車場）

9日　町成人式開催。156人が出席し、大人の第1歩を踏み出す（プラザあい）

対象者の8割以上が出席し20歳の門出を祝った町成人式（2月号2・3ページ）

31日　町ふるさと大使の岩崎茂氏（59）＝土川出身＝が自衛官の最高位、統合幕僚長に就任

2月

5日　町スポーツ文化センター完成記念「劇団わらび座」ミュージカルアテルイが開催（森のアリーナ）

16日　町豊かな農村づくりシンポジウムが開催され約160人が参加（プラザあい）

18-19日　いわて北緯40度まんぷくそばフェスタが開催。各地域自慢のそばが勢ぞろい（プラザあい）

3月

3日　「岩手町“挑戦する”まちづくりフォーラム」開催。町ふるさと大使ペマ・ギャルポさんの講演に約200人が参加（プラザあい）

11日　東日本大震災から1年。追悼イベント「祈りのともしび」を開催（道の駅「石神の丘」）

2-17日　町内13公立校で卒業式。342人が新たな環境へ巣立つ

4月

6-15日　町内13公立校で入学式。285人が新たな学校生活をスタート

29日　春の叙勲で、宮田和義さん（69）＝民部田＝が瑞宝単光章に輝く

5月

25日、6月10日　長年町の特別職を務め、町勢の発展に寄与した19人が町顕彰表彰を受賞

6月

2日　首都圏で暮らす町出身者などで構成する町ふるさと会の総会が開催され、116人が参加（東京都内）

14日　ホッケー女子日本代表に田中泉樹さん（20）＝一方井出身、山梨学院大2年＝が選出され、ロンドン五輪出場が決定。本町2人目の五輪選手となる

北京五輪に続き2大会連続となる町からの五輪選手輩出に関係者が歓喜（7月号2・3ページ）

10日　町消防演習が開催され、町消防団や婦人消防協力隊が士気旺盛に訓練を披露（町総合グラウンド）

16日　「岩崎茂氏統合幕僚長就任記念講演会・祝う会」を開催。統合幕僚長就任は、町はもとより東北出身者としても初の快挙（プラザあい）

自衛官のトップに就任した岩崎茂統合幕僚長が講演。ふるさとは「心の支え」と語る（7月号8・9ページ）

7月

2日　社会福祉法人日新福祉会が運営する特別養護老人ホーム「ラベンダー」が開所。町内2つ目の特養に入所待機者の解消が期待される（愛宕下地区）

8日　任期満了に伴う町議会議員選挙が執行され、4年間の町政を担う新議員16人が決定

15日　石神の丘美術館が平成14年のリニューアルオープン後の入場者20万人を達成

15-16日　全日本マスターズホッケー大会で男子岩手クラブマスターズが優勝（徳島県阿南市）

10月

5-7日　町秋まつりが盛大に開催。絢爛豪華な山車や郷土芸能団体が意気盛んに運行し大観衆を魅了（沼宮内地区）

各団体自慢の山車や踊りで実りの秋を祝った恒例の町秋まつり（11月号4・5ページ）

13、14、21日　第42回町民体育祭が開催され、ニュースポーツ交流会、町民ホッケー大会、町民ゲートボール大会で各地区選手が熱戦を展開し交流を深める（町総合グラウンドほか）

20-21日　いわてまち焼きうどん連合歓隊が「第7回B級ご当地グルメの祭典！B-1グランプリin北九州」に出展。全国へ町を大いにPR（北九州市）

21日　町内の交通死亡事故ゼロ2年間を達成

27、28日　町の産業が一堂に会し第32回町産業まつりが盛大に開催（森のアリーナ）

11月

1日　町教育長に新たに平沢勝郎氏が就任

1日　町金婚慶祝会が開催され31組の夫婦が参加し、結婚生活の50年の節目を祝う（プラザあい）

3日　秋の叙勲・褒章で、村山勝見さん（76）＝二ツ森＝が瑞宝単光章、田村恵子さん（62）＝野原＝が藍綬褒章をそれぞれ受章

9日　NHKラジオ「歌の散歩道」公開録音が行われ、1,200人がゲストの熱唱を堪能（森のアリーナ）

橋幸夫さん、新沼謙治さん、水田竜子さんが歌声を響かせた満員の「森のアリーナ」（12月号12・13ページ）

12月

24日　平成24年度町特別表彰が行われ、ホッケー岩手クラブマスターズが特別表彰を受賞（役場町長室）

1日　JR東北新幹線「いわて沼宮内駅」開業10周年記念式典が開催され、町民号「東京スカイツリーと浅草の旅」が出発（いわて沼宮内駅）…本号10ページ

13日　平成24年度叙勲・褒章受章祝賀会が開かれ4氏の受章を祝う（プラザあい）

16日　第46回衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査の投開票が行われる（町内21投票所、町総合開発センター）…本号6ページ

24日　道の駅「石神の丘」開業10周年。28、29日には10周年記念感謝祭を盛大に開催（道の駅「石神の丘」）

町の物産観光、情報発信の拠点として大きな役割を果たす道の駅「石神の丘」が10周年（9月号2・3ページ）

28～30日　全国スポーツ少年団ホッケー交流大会で水堀・沼宮内男子が第3位（新潟市）

29日～8月8日　ホッケー女子日本代表田中泉樹選手がロンドン五輪に出場。全6試合に出場し活躍（英国・ロンドン）

8月

1～5日　北信越インターハイ、全国高等学校ホッケー選手権大会で沼宮内高男子が第3位（福井県越前町）

13日　町夏まつりが開催され、1,600発の花火が夜空を彩る（道の駅「石神の丘」）

9月

1日　町消防団が防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞

1日　「いわてまち大縁会」を東京で開催。町の人的ネットワークの構築を図る（東京都内）

8-9日　「『北上川の源泉』シンポジウムinいわてまち」が開催され、源泉のまち・岩手町から北上川の魅力と流域文化を発信。同時開催「北上川ご当地グルメ大集合！」（プラザあい、大町）

18、21、25日　町敬老会開催。1,516人が参加し、地域を挙げて長寿を祝う（町内14会場）

21-23日　川口秋まつりが開催。秋浦大名行列をはじめとする郷土芸能団体や勇壮な山車が観衆を魅了（川口地区）

24日　ホッケー女子日本代表の田中泉樹さんに本町史上3人目の町民栄誉賞を授与。ロンドン五輪出場報告会が開催される（プラザあい）

町技ホッケーを通じて町民に勇気と感動、希望をもたらした田中泉樹さんに町民栄誉賞が贈られた　（11月号2・3ページ）

選挙結果

第46回衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査

投票率は58・26％

第46回衆議院議員総選挙と最高裁判所裁判官国民審査の投票は昨年の12月16日、町内21の投票所で行われ、町の有権者は、より良い日本の将来を自らの一票に託し投票しました。

当町を含む衆議院小選挙区選出議員選挙岩手県第2区では、開票の結果、自民党の元衆議院議員鈴木俊一氏(59)が、当選を果たしました。また、最高裁判所裁判官国民審査は、全裁判官が再任されました。

当日の町の有権者数は、1万2737人。投票率は、小選挙区と比例が58・26％で県全体の61・68％を3・42ポイント下回る結果となりました。また、最高裁判所裁判官国民審査の投票率は57・72％となりました。

なお、開票結果は、表1から表3のとおりです。

表1　岩手2区の選出議員選挙
（得票順、敬称略）

候補者氏名	岩手2区	岩手町
鈴木　俊一	○当 96,523	4,283
畑　浩治	63,695	2,402
久慈　茂雄	10,491	524
有効投票数	170,709	7,209
無効投票数	4,837	212
投票総数	175,546	7,421

表2　比例代表選出議員選挙

政党などの名称	県全体	岩手町
社会民主党	29,228	221
公明党	42,479	269
幸福実現党	2,886	28
みんなの党	38,065	371
自由民主党	150,075	2,589
民主党	122,501	1,106
日本共産党	40,896	459
新党改革	5,425	60
日本維新の会	68,275	618
日本未来の党	144,396	1,319
有効投票数	644,226	7,040
無効投票数	26,980	381
投票総数	671,206	7,421

表3　最高裁判所裁判官国民審査
（岩手町結果、敬称略）

氏　名	罷免を可とする投票数	罷免を可としない投票数
山浦　善樹	308	6,739
岡部　喜代子	294	6,753
須藤　正彦	275	6,772
横田　尤孝	261	6,786
大橋　正春	258	6,789
千葉　勝美	260	6,787
寺田　逸郎	247	6,800
白木　勇	260	6,787
大谷　剛彦	248	6,799
小貫　芳信	236	6,811
有効投票数		7,047
無効投票数		290
投票総数		7,337

①より良い日本の将来を願い家族で投票に訪れる有権者②③大切な一票一票を正確かつ迅速に分類・集計する開票作業

岩手町医療を守る住民会議

「沼宮内地域診療センター」民間移管の実現へ協議を継続

「町の医療を守る住民会議」（西田利夫代表）は昨年の11月29日、役場会議室で会合を開きました。

当日は、同会議のメンバーである町内の医療・福祉関係者、町議会議員、町医療対策アドバイザーら29人が出席。会議では、町が医療法人と協議を重ねてきた県立沼宮内地域診療センターの民間移管について、取り組み状況を報告しました。

県立沼宮内病院から県立沼宮内地域診療センターに移行し無床化された同センターの民間移管に取り組み、「一般入院ベッド」の確保を目指す町は、地域医療に大きな理解を示す医療法人日新堂（盛岡市玉山区、八角有紀理事長）と平成23年2月に覚書を締結。おおむね2年を目途に民間移管を目指す協議を重ねてきました。この協議について町は、これまでの経過を報告。「核となる医師や看護師など、人的体制の確保の目途が立たず、目途としていたおおむね2年での民間移管実現は困難な状況になっている」と説明しました。

今後の方向性について町は、「町と日新堂の覚書では、2年での実現が困難な場合、今後も協議を継続するとしている」と説明。「両者は今後も民間移管に関する覚書の内容達成のために、さらに協議を重ね協力して取り組んでいく」ことを確認したほか、新たに「町は、幅広く地域医療と民間移管に理解ある医療法人の情報収集などに取り組んでいく」という意向を示しました。

会合では、病院の人員や経営、医療制度についてなどの意見が活発に交わされ、出席者からは「町が予算的に応分の負担をする決意が必要」、「中核となる病院を守るんだという住民の意識を高めることも重要」などといった意見が出されました。会合での意見も踏まえ町は、「一般入院ベッド確保」を最優先に引き続き取り組みを進めます。

なお、現在の沼宮内地域診療センターは来年度以降も継続されます。

出席者に取り組みの経過説明をする民部田町長

自殺対策「こころケア研修会」開催
ゲートキーパーの役割と心得を学ぶ

町主催の自殺対策事業・こころのケア研修会は昨年の11月27日、プラザあいで開かれ、町内の医療機関の職員や町健康福祉課の職員など25人が出席しました。研修会では、本町の自殺死亡者数の現状や町が取り組む自殺対策事業について説明されたほか、県央保健所の菅原智所長（63）が、「自殺の現状と、その対応について」と題し講演しました。

講演では、自殺につながりやすいう病の人への対応について、「相手の話を否定せず、じっくりと聴くことが大事」と説明。具体的な会話の例などから、話を聴いて見守り、必要な支援につなげる「ゲートキーパー」の役割や心得を学びました。菅原所長は「うつ病は治療で治る病気。軽い状態は地域のかかりつけ医に診てもらい、タイミングを見て専門医に紹介してほしい」と話しました。

うつ病の人には「励まさず、徹底的に聴き役に回ってください」と対応法を説明する菅原中央保健所長

申告納税相談

もうすぐ確定申告の時期

町・県民税、事業税、所得税の申告時期が近づきました。皆さんの申告準備は済んでいますか。

町では、左表のとおり2月5日(火)から3月15日(金)まで、申告の受け付けと税金の相談を兼ねた申告納税相談を行います。期間中は、申告関係の書類はすべて会場に持参するため、役場での納税相談はできません。相談日と会場を確認し、指定の会場で相談を受けてください。南山形地区は川口または北山形公民館で、子抱・沼袋地区は川口公民館でも相談できます。また、会場が大変混み合うことがありますので、領収書や計算書など必要な書類を事前に準備し、合計を算出しておくなど、協力をお願いします。

特定の人は確定申告会場で

税務署から呼び出しがあった人や消費税の申告が必要な人は、農協の申告会場や盛岡税務署が「アイーナ」に開設する確定申告会場で申告してください。なお、その場合は、収入や経費の事前の計算をお願いします。また、農協や税務署が開設する確定申告会場で申告する人は、町の日程によらず申告できます。ただし、家族の申告は受け付けできない場合もありますので注意ください。

生命保険料控除が改正に

生命保険料や個人年金保険料を支払った場合に一定の金額の所得控除を受けられる生命保険料控除が改正されました。

平成24年1月1日以後に締結した保険契約などは「新契約」に、平成23年12月31日までに締結した保険契約などは「旧契約」とされ、下記のとおり保険料控除の取り扱いが異なります。

なお、町・県民税は平成25年度分から、所得税は平成24年分から適用されます。

生命保険料控除の改正の概要

◎「新契約」(平成24年1月1日以後に締結した保険契約など)の控除額

新契約には、新たに「介護医療保険料控除」が設けられ、介護医療保険料の支払額から控除が受けられます。
一般生命保険料・介護医療保険料・個人年金保険料のそれぞれの控除額は、下表の計算式で計算した額です。

町県民税の計算式

年間の支払保険料	控除額
12,000円以下	支払保険料の全額
12,000円超32,000円以下	支払保険料×1/2＋ 6,000円
32,000円超56,000円以下	支払保険料×1/4+14,000円
56,000円超	一律28,000円

所得税の計算式

年間の支払保険料	控除額
20,000円以下	支払保険料の全額
20,000円超40,000円以下	支払保険料×1/2+10,000円
40,000円超80,000円以下	支払保険料×1/4+20,000円
80,000円超	一律40,000円

◎「旧契約」(平成23年12月31日以前に締結した保険契約など)の控除額

旧契約では、これまでどおり一般生命保険料・個人年金保険料の支払額から控除を受けられます。
それぞれの控除額は、下表の計算式で計算した額です。

町県民税の計算式

年間の支払保険料	控除額
15,000円以下	支払保険料の全額
15,000円超40,000円以下	支払保険料×1/2＋ 7,500円
40,000円超70,000円以下	支払保険料×1/4+17,500円
70,000円超	一律35,000円

所得税の計算式

年間の支払保険料	控除額
25,000円以下	支払保険料の全額
25,000円超 50,000円以下	支払保険料×1/2+12,500円
50,000円超100,000円以下	支払保険料×1/4+25,000円
100,000円超	一律50,000円

◎控除の合計と限度額

一般生命保険料控除と個人年金保険料控除は、新契約と旧契約の各控除額を合計することができますが、この場合、各控除額の限度は町県民税が２万８千円、所得税は４万円となります。

なお、控除額全体の適用限度額は町県民税が７万円、所得税は12万円となります。

【全体の適用限度額】 町県民税７万円〈12万円〉 ※〈 〉内は所得税の適用限度額

新契約	一般生命保険料控除 限度額2万8千円〈4万円〉	介護医療保険料控除 限度額2万8千円〈4万円〉	個人年金保険料控除 限度額2万8千円〈4万円〉
	＋ 合計可。ただし、限度額2万8千円〈4万円〉		＋ 合計可。ただし、限度額2万8千円〈4万円〉
旧契約	一般生命保険料控除 限度額3万5千円〈5万円〉		個人年金保険料控除 限度額3万5千円〈5万円〉

◎平成25年度申告納税相談の日程

月 日	曜日	会 場	対象地区など 午前の部 午前９時～午前11時30分まで	午後の部 午後１時～午後３時30分
2月5日	火	町総合開発センター	年金収入・給与還付のみ(対象地区で申告ができない人)	
6日	水		年金収入・給与還付のみ(同上)	―会場移動―
7日	木	水堀いきがい交流センター	前ケ沢・吉谷地・御堂・御堂新田・朽木林・北上・上横沢・下横沢	
8日	金		尾呂部・豊岡・小山沢・水堀	
12日	火		川原木・笈の口	―会場移動―
13日	水	川口公民館	草桁・駅通・下町・山道	
14日	木		境田・上町・二ツ森	
15日	金		秋浦・高梨・岩崎・芦田内・雪浦	
18日	月		野原・土滝・雨滝・橋場	―会場移動―
19日	火	一方井公民館	上黒内・下黒内・大股・葉木田	
20日	水		一方井・新田・上浮島	
21日	木		今松・下浮島・土川	
22日	金		黒石・大森・下鴫沢	
25日	月		上鴫沢・中田	―会場移動―
26日	火	北山形公民館	万部・相寅瀬・落葉・葉の木・大平・大金沢・小金沢・膝突・下屋敷	
27日	水		白椛・日の神子・上平・一本柳・曲り・岩瀬張	―会場移動―
28日	木	町総合開発センター	―会場準備―	
3月1日	金		子抱・沼袋・大渡・遠中沢・穀蔵・丸泉寺・太布・水無・子九十	
3日	日		平日申告することができない人	
4日	月		日中申告することができない人 【受付時間】 午後１時～午後７時30分	
5日	火		舘・新町・城山・民部田・柳橋・田中栄小路	
6日	水		上大町・下大町・上野口町・江刈内・新愛宕下	
7日	木		下苗代沢１・下苗代沢２・駅前・上愛宕下・下愛宕下・子抱団地	
8日	金		上五日市・下五日市・大坊・下野口町・上苗代沢	
11日	月		日中申告することができない人 【受付時間】 午後１時～午後７時30分	
12日	火		太田・細沢・石神・犬袋	
13日	水		横田・久保・落合・半在家	
14日	木		まだ申告をしていない人	
15日	金		まだ申告をしていない人	

盛岡税務署からのお知らせ

【問い合わせ先】 盛岡税務署 ☎019-622-6141

◎ e-Tax をご利用ください

国税庁ホームページ(www.e-tax.nta.go.jp)で、確定申告書(所得税・消費税・贈与税)、青色決算書、収支内訳書の作成ができます。また、国税申告・納税システム「e-Tax」を利用するとさらに便利です。詳しくはe-Taxホームページ(www.e-tax.nta.go.jp)をご覧ください。

◎消費税、贈与税などの申告は「アイーナ」で

平成24年分の申告書作成会場が次のとおり開設されます。所得税(譲渡所得含む)、消費税、贈与税の申告が必要な人は利用ください。なお、盛岡税務署内には申告書作成会場を設置していません。来場の際は、無料駐車場はありませんので公共交通機関などを利用ください。

【期間】 ２月１日(金) ～３月15日(金) ※土日祝日は除く。ただし２月24日と３月３日の日曜日は開設
【時間】 午前９時～午後４時
【会場】 盛岡駅西口「アイーナ」(７階アイーナホール)

岩手町 農商工連携「農商工"えん結び"事業」

えん結び PARTY

岩手町 石神の丘

Iコン（あい）

Iwatemachi

レストラン料理長が腕を振るった
美味しい料理やワインで
楽しい出会いを♪

参加者大募集

【日時】2013 2月10日(日) 16:00～19:00 受付／15:30～

【場所】道の駅「石神の丘」レストラン

【定員・会費】男性 20人 会費3,500円　女性 20人 会費1,500円

女性は２人以上一緒の申し込みで会費が１人1,000円に！友人と誘い合わせて一緒にどうぞ！

【参加資格】結婚・出会いを希望する満20～40歳の独身男女
※男性は町内在住または出身、勤務の人

【参加申し込み】申込書に必要事項を記入し、町商工会まで郵送か FAX で申し込みください。申込書は町商工会青年部ホームページ（http://iwatemachi.net）からダウンロードするか、町商工会へ問い合わせください

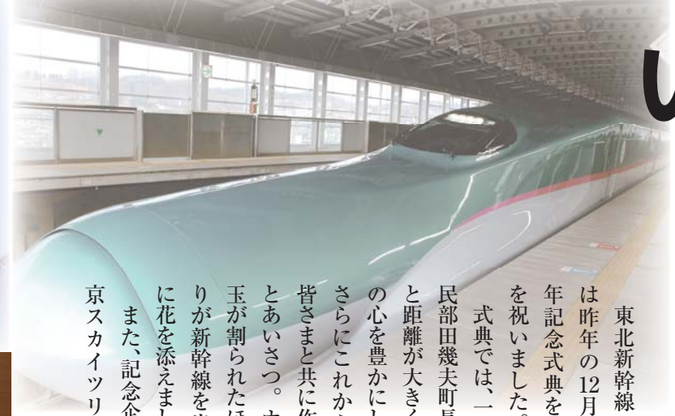
申込期限 1/31(木) 定員になり次第締切

【問い合わせ先】町商工会青年部 ☎62-2760 FAX62-4844
（〒 028-4303　岩手町大字江刈内 9-65-1）

主催：町商工会
主管：町商工会青年部／ JA 新いわて青年部岩手中央支部

いわて沼宮内駅 開業10周年

町民号「東京スカイツリーと浅草の旅」



記念式典出席者と10周年記念企画の町民号で東京に出発する参加者たち

ホームで新幹線を迎える沼宮内駒踊り

東北新幹線いわて沼宮内駒は昨年の12月1日、開業10周年記念式典を行い、節目の日を祝いました。

式典では、一日駅長を務めた民部田幾夫町長が「開業で時間と距離が大きく短縮し、私たちの心を豊かにしてくれました。さらにこれからの10年を町民皆さまと共に作っていきたい」とあいさつ。ホームでは、くす玉が割られたほか、沼宮内駒踊りが新幹線を出迎え節目の日に花を添えました。

また、記念企画の町民号「東京スカイツリーと浅草の旅」には、町民など58人が参加。臨時運行された新幹線で東京へ出発し、東京スカイツリーや浅草寺、リニューアルされた東京駅などを観光し、1泊2日の東京ツアーを大いに満喫しました。

愛宕組御神鏡奉納 百周年記念祝賀会

愛宕組御神鏡奉納百周年記念祝賀会（同実行委主催）は、昨年の12月9日、プラザあいで開催されました。

当日は、愛宕組関係者をはじめ沼宮内地区の山車組や郷土芸能団体の代表、民部田幾夫町長などの来賓約110人が出席。大正2年に愛宕組が沼宮内稲荷神社へ御神鏡を奉納してから100周年の記念を盛大に祝いました。式典では、愛宕組の武田隆組頭（50）＝愛宕下＝が「大正2年に御神鏡を山車に乗せ町内をお披露目した貴重な写真が見つかり、愛宕組のルーツが解読された」とあいさつ。会場には、当時の山車を模して作られた高さ約3メートルのミニ山車が展示され、愛宕組による太鼓囃子や音頭上げが誇り高く響き渡りました。

貴重な古写真は同神社の柚直明宮司が提供し、石神の丘美術館でも御神鏡や古写真の特集展示が行われました。

①長い歴史を誇り高く受け継ぐ愛宕組の皆さん②100年の歩みとまつり話に花が咲き盛り上がる会場③御神鏡を乗せた大正２年の山車を模したミニ山車

総本宮の伏見稲荷大社（京都）で「川口きつね踊り」が奉納演舞

川口の豊城稲荷神社（立花弘好総代長）と川口きつね踊り保存会（瀬川孝会長）は昨年の11月24日、京都市の伏見稲荷大社を訪ね、奉納を果たしました。

同大社は全国の稲荷神社の総本宮。豊城稲荷神社は昨年、同大社より分霊を受け300年に当たり、この節目の年に奉納を果たそうと当日は、神社の関係者やきつね踊り保存会のほか、川口神楽、川口秋まつりの山車組のメンバーら約40人が同大社を訪問しました。

現地では、川口きつね踊りと川口神楽の全演目が踊られたほか、山車組が音頭上げを奉納。居合わせた大勢の参拝客から大きな拍手が沸き起こりました。

保存会の瀬川会長は、「節目の年に子どもたちと一緒に奉納を果たせて感無量です。地域とともに伝承してきたきつね踊りにまた一つ歴史を刻むことができた。これからも伝統を絶やさず続けていきたい」と伝承の思いを強くしました。

①全国各地から大勢の参拝客が訪れる稲荷神社の総本宮、伏見稲荷大社を訪問した皆さん②真っ赤な装束とキツネのお面を身に着け、リズミカルに跳ねる川口きつね踊りの子どもたち。夢の舞台で奉納演舞を果たす

いわてまち 男女共同参画フォーラム

～一人ひとりが いきいき輝いて生きるために～

男女が共に意見を尊重し、責任を分かち合いながら生き生きと暮らせるまちづくりを進めようと町は本年度、3回の男女共同参画セミナーを開催してきました。その集大成として12月15日、「いわてまち男女共同参画フォーラム」を開催。講演とパネルディスカッションから男女共同参画への理解を深めました。

講演「幸せのスイッチは自分持ち」

講師 後藤 のりこ 氏

【プロフィル】
秋田県出身、盛岡市在住。
㈱岩手放送にアナウンサーとして入社。結婚退職後、フリーアナウンサーとして活躍し、IBCラジオ「のりこの週刊おばさん白書」などの番組に出演。声・パーソナリティ・進行・内容などにおいて高い評価を受ける。

プラス思考で幸せに

プラザあいで行われたフォーラムには、約130人が来場。はじめに、フリーアナウンサーとしてラジオ番組などで活躍する後藤のりこさんが「幸せのスイッチは自分持ち」と題して講演しました。

男女共同参画について後藤さんは、「『明るく元気に幸せだなあと自分が思って生活できる』、そんな地域、人生をみんなで考えることと解釈した」と話し、パーソナリティを務めるラジオ番組に寄せられた手紙や、自らの経験に基づく話を軽妙な語り口で紹介。その中で、「自分以外の誰かがスイッチを入れるから、ポッと明るくなって自分が幸せになる、スイッチを切られるから自分が苦しくなるでは、自分の人生を生きているとはいえない。苦しいことも全部自分のこととして自分が抱えて生きていく決心が必要」と話し、そのためには、「つらい現状の中でも何かいいことはないかと探そうとするプロセスに人は癒され、同時に自分も癒されていく。だから、いっぱい褒めた方がいい。3D『だって・でも・どうせ』というマイナス思考の言葉は使わずに、3S『さすが・すごい・素晴らしい』＋『そうくるか』＋『おしい』という言葉を使い、プラス思考になりましょう」と呼び掛けました。そして、「これからは、感受性の格差が幸せの格差を生む時代」と話し、「何かが起きた時に、『どうしてこんなことが起きるんだ。傷つきたくない』と思うか、『これは、何かのチャンスだ』と思うかでその人の幸せ感が違ってくる。前向きに思えなくても、思えるようにギアチェンジを繰り返していくと自分が強くなり、幸せだと感じることにつながります」とまとめました。

後藤さんの軽妙なトークに笑顔を見せる参加者たち

性別にとらわれず生き生きと暮らす3人が体験を発言

体験談を話し合う

講演後は、「自分らしく輝いて生きるには」をテーマにパネルディスカッションが行われました。パネリストに帝京大学准教授の柴田彩千子さん(38)＝下大町出身＝と、在宅介護経験者の金沢勇さん(67)＝草桁＝、講演の講師を務めた後藤さんの3人を迎え、県立大の吉野英岐教授がコーディネーターを務めました。育児と仕事の両立を図る柴田さんは「私にとって、仕事はやりがい、育児は生きがい。周りの人の助けに感謝している」と話し、実母を自宅で6年間介護した金沢さんは「自宅介護する男性は珍しいと言われたが、できる限りやろうと思った」、後藤さんは「夫だから、妻だから、こうすべき。という〝べき思考〟から解き放たなければならない」などと発言。来場者は、うなずきながらパネリストの話に聞き入り、男女共同参画への理解を深めました。

盛岡北部行政事務組合

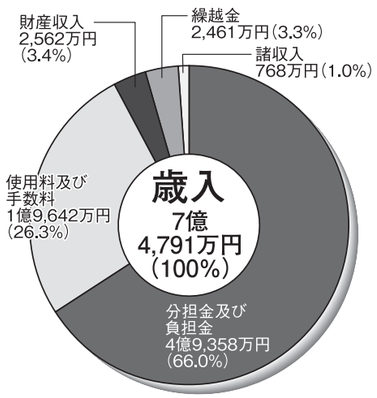
【問い合わせ先】☎74－2716

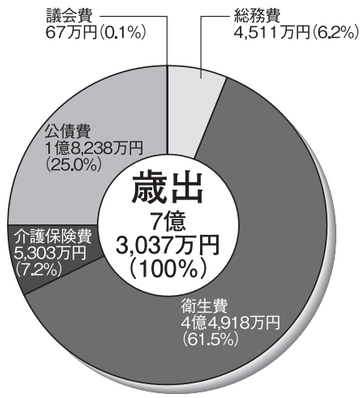
平成23年度 決算報告

盛岡北部の市町が共同で、し尿処理事業や介護保険事務を行う盛岡北部行政事務組合(管理者・田村正彦八幡平市長)の平成23年度会計決算がこのほど、同組合議会で認定されました。

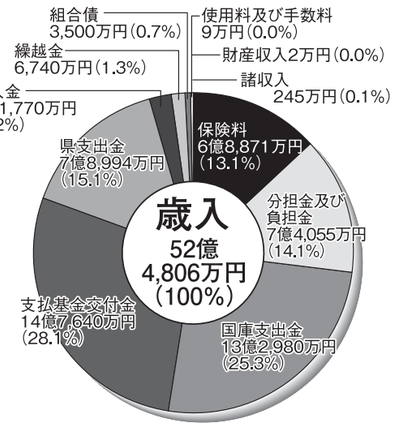
同組合の一般会計は、歳入が7億4791万円(前年度比1・1%、806万円増)、歳出が7億3037万円(前年度費2・1%、1513万円増)。介護保険特別会計は、歳入が52億4806万円(前年度比2・3%、1億1908万円増)、歳出が51億6818万円(前年度比2・0%、1億646万円増)となり、それぞれ、4440万円、7988万円が平成24年度へ繰り越されました。歳入と歳出の内訳、事業のあらましは次のグラフと表のとおりです。

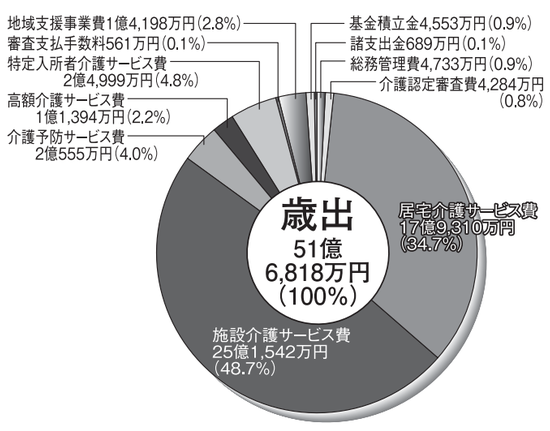
●平成23年度一般会計の収支決算





●平成23年度介護保険特別会計の収支決算





●平成23年度し尿処理事業の概要

市町名	件　数	収集量(リットル)
岩手町	10,754	7,871,850
盛岡市(玉山区)	7,316	6,474,690
八幡平市	19,193	18,287,580
葛巻町	2,909	2,881,070
合　計	40,172	35,515,190

●平成23年度介護保険事業の概要

市町名	高齢者数	要介護(要支援)認定者数	サービス利用者数	サービス費用(給付費)
岩手町	4,789人	950人	779人	14億2,412万円
葛巻町	2,744人	593人	453人	7億6,139万円
八幡平市	9,184人	1,756人	1,419人	26億9,809万円
合　計	16,717人	3,299人	2,651人	48億8,360万円

「まち・ひと きらり」では、きらりと光る町の出来事や輝く人たちを紹介します。
あなたの地域・職場での話題をお寄せください。

まち ひと きらり

投稿と問い合わせは役場企画商工課企画広報係 ☎62-2111［内線217］まで

Topics01

風土や暮らしの展示を回顧 美術館十年記展―博物編―

石神の丘美術館リニューアル10周年記念「石神の丘展覧会十年記―博物編―」は昨年の11月23日から12月16日まで、同美術館で開かれました。期間中は、同美術館が平成14年のリニューアル後に開催してきた博物的内容の展覧会を振り返るとともに、2つの特集展示を加え、あらためて町の風土や暮らしを見つめました。

初日に行われた開場式では、同美術館長の民部田幾夫町長が「過去から学び未来をひらく。そういう位置付けの展覧会になれば幸いです」とあいさつ。特集展示「愛宕組御神鏡奉納百年展」では、大正2年に愛宕組が奉納した沼宮内稲荷神社の御神鏡やまつりの古写真などが展示。また、「岩手の暮らしを支えた茅葺（かやぶき）の民家に魅せられて」では、盛岡市のアマチュア写真家瀬川幸子さん（65）が撮り続けるかやぶきの家の写真と佐藤由雄さん（63）＝細沢＝さんが制作した模型作品が紹介されました。

①テープカットで開場②ポスターなどで10年の展示を振り返る③かやぶきの写真や模型を展示④愛宕組が音頭上げ⑤貴重な古写真などが展示⑥大正2年に奉納された御神鏡

Topics02

「おはなし☆きらきら☆」が利用者と会員を大募集中!!

読み聞かせボランティア「おはなし☆きらきら☆」（府金洋子代表、会員12人）は、利用者と会員を募集しています。

同会は昨年4月、町図書館が開催した読み聞かせ講習会の参加者を中心に発足。「声を出して本を読むことで、相手に気持ちが伝わる。本を通じて人の温かみを感じてほしい」と活動を開始しました。町内のグループホームでは、会員が紙芝居や昔話、手遊びなどを行い、お年寄りたちが大喜び。「こんなに喜んでもらえるんだ」と活動に手応えを感じています。

現在は、児童館や図書館など活動場所を広げ、子どもたちにも読み聞かせをする同会。府金代表は、「地区PTAや振興会など、町内の集まりに無料で伺います。ぜひご利用ください。また、同じ本を読んでも男性や女性、年代など読む人によって違った魅力が出るので、いろいろな人に参加してほしい」と呼び掛けます。

同会への問い合わせは町図書館☎62-2877へ。または、図書館で行われる同会定例会（毎月第1火曜午後1時～）まで。

①「おはなし☆きらきら☆」の府金代表（前列⊕）と会員の皆さん②感情が込もった読み聞かせに聞き入る子どもたち③手作りの小道具を使ったお話

スマイル Smile Babies ベビーズ

1歳児健診に来てくれたお子さんのかわいい笑顔を紹介します。

お子さんの紹介
なまえ（地区）
保護者から一言

渡邉大樹さんの長男
渡邉 陽里くん（上愛宕下）
いつもニコニコ元気に育ってね

山口健二さんの次女
山口 亜子ちゃん（民部田）
かわいい笑顔をありがとう♡

佐々木隆幸さんの長女
佐々木 柚愛ちゃん（落合）
元気にすくすく育ってね

藤村 淳さんの長男
藤村 奏大くん（石神）
元気な笑顔で健やかに育ってね

千葉 修さんの孫
千葉 柊莉ちゃん（民部田）
いっぱい泣いて、いっぱい笑って元気な子に育ってね

My Dream 僕の夢 私の夢 No.281

木戸口 魁永君　引木 龍昇君
白椛 俊君　畑中 一馬君
（北山形小5年男子全員）

新年に抱く4人の初夢

将来は「ガソリンスタンドで働き、みんなの車に給油したい」魁永君と「車の整備士になり、車の故障で困っている人を助けたい」俊君、「大工になっていろいろな家を建てたい」龍昇君、「お父さんの跡を継いで野菜農家になり、一緒にキャベツを作りたい」一馬君は、いつも元気な北山形小の5年生。新年は、勉強や児童会など学校での活動のほか、ホッケーやスキー、スノーモービルなど、それぞれに挑戦したいことや行きたいところがいっぱい。たくさんの初夢を抱く4人です。

お元気ですか No.281

新年も仲間と遊びたい

細野サクラさん（77）＝岩瀬張＝

家族で営む牛の繁殖農家で元気に働くサクラさん。「牛の病気など大変なこともありますが、生まれた子牛を9カ月育てて、無事に市場へ送り出せたときはうれしいし、安心してホッとしますね」と愛情を持って牛たちを世話します。仕事の合間には、岩瀬張地区の仲間と作る婦人団体「バーチャーズ」の集まりでリラックス。温泉に出掛けたり、芸達者な仲間たちと歌ったり、踊ったり、さまざまな趣味を楽しんでいます。「自分の体を大事にして、健康でいることが一番」と話すサクラさん。「ひ孫（七海ちゃん、4歳）の成長も楽しみですし、バーチャーズのみんなとまた一年間、遊んで歩きたいですね」と新年の抱負を笑顔で語ります。

▼2012.12.11

町出身選手が健闘誓う

○盛岡中央高校サッカー部

大会での健闘を誓う八重樫君（左から2人目）と幅上君（同3人目）

全国高校サッカー選手権大会に初出場する盛岡中央高の激励会は昨年の12月11日、役場町長室で行われました。当日は、同校サッカー部の小原祐一監督と沼宮内中出身の八重樫匠君（3年）＝下愛宕下＝、幅上祐生君（同）＝犬袋＝が出席。代表して八重樫君が「岩手県、そして町の代表として精いっぱい頑張ります」と健闘を誓い、民部田幾夫町長は「準決勝、決勝が行われる国立競技場でのプレーを期待します」と激励しました。両選手は、同校の県大会初優勝に大きく貢献しました。

▼2012.12.08

収益を福祉団体へ寄付

○岩手ライオンズクラブ

岩手ライオンズクラブ（武田吉蔵会長、会員43人）は昨年の12月8日、プラザあいで恒例の歳末助け合い芸能大会を開催しました。当日は、約300人が来場。歌や踊りのステージが行われたほか、チャリティーオークションが行われ、希望の商品に入札する威勢のいい声の掛け合いで会場は大いに盛り上がりました。同クラブは、このオークションの売上金をいわて育心会（伊藤昌幸理事長）と町手をつなぐ会（瀬川正春会長）に寄付。両団体の活動に役立てられます。

威勢のいい声が掛かり盛り上がるチャリティーオークション

▼2012.12.10

暴力団排除の連携強化を誓い調印した民部田町長と岩沢署長

暴力団排除の連携強化

○暴力団排除の協定書調印式

町と岩手警察署（岩沢嘉彦署長）は昨年の12月10日、町の行政事務からの暴力団排除に関する協定書調印式を行いました。当日は、民部田幾夫町長と岩沢署長が、8項目に渡る取り決めを記載した文書の内容を確認し、署名捺印。この協定により両者は、公共の工事や施設管理、町の主催行事などから暴力団関係者を排除するための情報提供などを円滑に行えるようになります。なお、同様の協定締結は、県内2番目。先駆けた取り組みで、暴力団のない町づくりを進めます。

▼2012.11.22

焼きうどん作りに挑戦

○水堀小PTA研修会

水堀小PTA研修委員会（大石敏行委員長）主催の「いわてまち焼きうどん調理講習会」は昨年の11月22日、水堀いきがい交流センターで行われました。当日は、同校の児童と親、教諭など45人が参加。講師にいわてまち焼きうどん連合歓隊を招き、調理の手順などを習いました。親子で参加した早坂美紀さん（37）＝尾呂部＝は「肉そぼろの作り方など勉強になった。家でもやってみたい」と話し、娘の優希菜さん（2年）は「楽しかった」と笑顔を見せました。

高間木副隊長㊨が調理の手順を実演し、おいしく作るこつを伝授

熱気あふれる真剣勝負

○第40回町少年剣道交流大会 ▼2012.12.09

第40回町少年剣道交流大会は昨年の12月9日、森のアリーナで開催されました。当日は、近隣市町村から小・中学生の66チーム約400人が出場。各種目で団体戦が行われ、選手たちの真剣勝負と父母たちの声援で会場は熱気に包まれました。

【大会結果】 ▼小学生新人の部　①沼宮内剣道スポ少A　②二戸市剣道スポ少　③滝沢村剣道スポ少

真剣勝負を繰り広げる少年剣士たち

▼小学生の部　①日詰剣道スポ少A（紫波町）　②滝沢村剣道スポ少B　③沼宮内剣道スポ少　③滝沢村剣道スポ少A

▼中学生男子の部　①紫波第一中A　②小鳥谷中（一戸町）　③雫石剣道スポ少A　③飯岡剣心スポ少（盛岡市）

▼中学生女子の部　①見前剣道スポ少・北松園中（盛岡市）　②滝沢中A　③福岡中（二戸市）

パンをくわえゴールを目指す障害物競走

スポ少団員が運動会で交流

○第2回森ンピック ▼2012.11.25

町のスポーツ少年団の交流運動会「森ンピック」は昨年の11月25日、森のアリーナで開催されました。当日は、町内の野球やサッカー、ホッケー、剣道、卓球など8つのスポーツ少年団の団員と育成会員など約150人が参加し、地区別に6つのチームを編成。「玉入れ」や「障害物リレー」など運動会の定番種目のほか、「グルグルバットリレー」や「美脚リレー」など、日頃取り組むスポーツとは一味違ったユニークな10種目に歓声を挙げて楽しみ、地域や競技の枠を越えて交流を深めました。

幅広い年代の選手が熱戦

○第39回町民卓球大会 ▼2012.12.15～16

第39回町民卓球大会は昨年の12月15日と16日の両日、森のアリーナで開催されました。両日は、小学生から70代まで幅広い年代の選手127人が参加。各所属クラブで磨いた技術を発揮し、団体戦や個人戦で熱戦を展開。アリーナに歓声と球音を響かせました。

【大会結果】 ■小学生の部　◆団体戦▽1部（男女混合）　①川口卓球教室A　②岩瀬張スポ少A　③川口卓球教室B　▽2部（男女混合）　①岩瀬張スポ少B　②浮島スポ少　③岩瀬張スポ少C　◆シングルス▽5・6年男子　①細野新（岩瀬張スポ少）　②岩崎翔（同）　③岩崎琉生（同）　▽同女子　①堤彩佳（川口卓球教室）　②滝川洋菜（同）　③佐藤明音（同）　▽4年以下男子　①瀬川泰生（岩瀬張スポ少）　②細野清博（同）　③岩崎尚旺（同）　▽同女子　①岩崎萌衣（岩瀬張スポ少）　②大巻茉鈴（浮島スポ少）　③伊藤ヒロ（同）　◆親子ダブルス　①菊池大輔・乃愛（川口）　②瀬川栄作・泰生（岩瀬張）　③岩角美由紀・萌々花（川口）、滝川倫・洋菜（同）

■中学生の部　◆シングルス　▽男子　①久保航大（川口中）　②岩崎公平（東部中）　③遠藤慶斗（一方井中）　▽女子　①田村莉里奈（川口卓球教室）　②佐藤七海（川口中）　③田村美里奈（川口卓球教室）

①各種目で好ラリーを展開する選手たち②開会式で健闘を誓う岩瀬張スポ少の細野新君③笑顔の表彰式④親子ダブルス優勝の菊池親子

■一般の部　◆団体　①川口クラブA　②川口卓球教室A　③久保選抜、川口卓球教室B　◆シングルス　▽男子　①笈口航（川口クラブ）　②吉田任宏（関東自動車工業）　③佐藤正樹（川口クラブ）　▽女子　①立花李花（川口卓球教室）　②佐藤七海（同）　③江刺家望美（同）

■ラージボールの部　▽シングルス　①越戸湜子（子抱団地）　②江刺家雅信（川口卓球教室）　③立花真由美（同）　▽ダブルス　①佐藤学・佐藤亜紀（川口卓球教室）　②立花真由美・小野寺邦俊（同・川口中）　③佐藤浩一・江刺家雅信（川口卓球教室）

善意の献血が貴い命を救います 広げよう「献血の輪」

今月は金沢浩美主任からのお便りです

献血は助け合いの制度

献血は、事故や病気で血液を必要とする多くの人のために健康な人が血液を提供し、誰もがいつでも安全に輸血を受けられるようにする、助け合いの制度です。血液は、生きている細胞であり、科学が進歩した現在でも、人工的に造ることができません。また、長期間保存できないため、輸血に必要な血液をいつでも十分確保しておくには、絶えず皆さんの献血への協力が不可欠となっています。

冬季は献血者が減少

献血された血液は、赤血球、血しょうなどの輸血用血液として使われるほか、いくつかの成分に分け製剤化され、医療機関で手術やガンの治療などに使われています。

冬季は、風邪など体調を崩す人が多く、献血協力者が減少します。輸血用血液の安定供給のため、冬季の献血に1人でも多くの協力をお願いします。

献血で健康管理

献血協力者の健康管理に役立てるため、献血の際血液に関する検査を行っています。検査では、血液中のコレステロールや総タンパクなど7項目の生化学検査と8項目の血球計数検査を行うほか、糖尿病関連の検査「グリコアルブミン検査（GA）」も実施しています。これらの検査成績はいずれも通知を希望する人を対象とし、後日郵送でお知らせしています。

「はたちの献血」キャンペーン実施中

若い世代に、献血について広い理解と一層の推進を図るため、2月28日まで「はたちの献血」キャンペーンを実施しています。献血は、献血する人の善意とそれに携わる人たちの努力によって支えられています。新たに成人を迎えた20歳の若者をはじめ、町の皆さんに献血への理解と協力をお願いします。

県献血推進マスコットキャラクター
ココロンちゃん

お願いする献血の種類

成分献血、400ミリリットル献血は、200ミリリットル献血に比べ量が多いことから、献血者が少なくても輸血を可能にし、輸血後の副作用発生の可能性が低く、安全性を向上できる献血方法です。このため、献血者の意思を優先し、健康状態について慎重に確認した上で成分献血、400ミリリットル献血をお願いしています。

献血で、つながる〝いのち〟あなたのわずかな時間で、救われる命があります！

【町内の献血実施予定】

月　日	種類	受付時間	場　所
3月25日（月）	全血献血	9:30～11:00	JA新いわて岩手中央支所
		12:00～13:00	岩手中央自動車学校
		14:30～16:30	岩手町役場

早めに認定の申請を

要介護の状態により税の控除があります

申・問　役場健康福祉課 地域包括支援センター ☎62-2111内線515,518

介護保険の要介護認定を受けている人は、確定申告をするときに所得税と住民税の控除を受けられる場合があります。対象になる人は、要介護認定を受け、その状態が障害者に準ずる人として障害者控除対象者認定を受けている場合です。認定には申請が必要です。該当する人は、役場健康福祉課地域包括支援センターで早めに手続きをしてください。なお、該当するか分からないときは、手続きをする前に同センターに問い合わせてください。

【該当する人】

介護保険の要介護認定を受けていて、次の状態にある人

障害者控除対象者	認知症高齢者の日常生活自立度がIIaまたはIIbの人
	障害高齢者の日常生活自立度がA1またはA2の人
特別障害者控除対象者	認知症高齢者の日常生活自立度がIIIa、IIIb、IVまたはMの人
	障害高齢者の日常生活自立度がB1、B2、C1、またはC2の人

図書館だより

町立図書館
☎62-2877

【1月の休館日】　毎週月曜日、25日（金）。ただし、14日（月・祝）は開館し、翌日15日に休館にします。

【開館時間】　9:00～18:00

皆さまからのご要望により土曜・日曜・祝日の開館時間を18時まで延長しました。

新着図書

ジャンル		書　名	著　者
一般向け	小　説	芳一	堀川　アサコ
	エッセイ	人生の旅をゆく　2	よしもとばなな
	実用書	着物と遊ぶ	石橋　富士子
児童向け	絵　本	十二支のしんねんかい	柳原　良平
	絵　本	まいごのワンちゃんあずかってます	アダム・ストーワー
	読み物	金色の髪のお姫さま	エルベン

図書館の行事

◇おはなし会◇

【日時】　1月20日(日)午前11時～
【対象】　小学校就学前のお子さん
※読み聞かせボランティアの『おはなし☆きらきら☆』によるおはなし会です。

まちの文芸

短歌

集い来て山の友らと乾杯す　岩舘　カツ
夫亡き友の古稀を祝ひて

誕生日に子らはくれたり肩もみと　瀬川　浩美
家事引き受ける数枚の券

高月の光は冴えし箏の音に　高橋　糸
父偲び弾く「美しき天然」

綻びし母の形見のちゃんちゃんこ　山口　國男
つい身に纏い除雪機を操る

岩手山日出づる国の名山に　佐藤　水魚
神酒挙ぐ元旦晴れて風なし

俳句

糞（みぞ）るるや糶（せり）牛濡れて貸車に乗る　遠藤　金作
猫の用ありげに走る漱石忌　佐々木小夜
大地震（おおなえ）の又も来れる師走かな　佐藤　栄
柿たわわ飯盛山は香に満つ　志田　悦朗
喜寿すぎて思い出整理古日記　柴田　ヒノ
もてなしは馴染の味の鰤（ぶり）大根　白井　梅子
つい纏（まと）ふ母の形見に着ぶくるる　山口　國男
今頃の海は吹雪か故郷恋ふ　高橋　麗子

川柳

席題「老人」　久慈正和　選

〈佳作〉
趣味多彩元気な老いのスケジュール　佐藤　小草
口下手でよし老人の飾らぬ弁　菊池　一覚

〈秀逸〉
一人居は気楽と言うが寂しさも　四日市俊悦
百歳の皺は菩薩の相になり　柴田　満子

〈特選〉
この位生きてもまだ半人前　土橋はつお
刑務所に老人ホーム出来そうだ　自　句

ふるさと再発見 いわてまち探検隊 No.10

岩手町観光ボランティアホームページ http://e-iwate.net/

町の名所・旧跡や自然、歴史などを「岩手町観光ボランティアガイドの会」会員が毎月交代で紹介します。今月のガイドは、武田吉孝さん(59歳)＝下黒内＝です。

①二股に分かれる桂の木の根元から湧く「桂の泉」②こんこんと枯れることなく清水が湧き出ています

黒内地区「桂の泉」

眼病の守り神とされる黒内地区の薬師大明神（別当田村孝さん）。その薬師さんの登り口に幹周り約3メートル、樹齢80年と推定される桂の木があります。根元から高さ3メートルくらいのところで二股に分かれ、そびえ立つその木の大きく根を張った元からこんこんと水が湧いて小さな泉になり、その下の池にも満々と水を貯えています。

すぐそばを流れる黒内川は三方コンクリートながら、温度調整をする落差工があり、尺ヤマメや小さな魚が見られます。その魚を狙ってダイビングするカワセミや時にはニホンカモシカも姿を見せます。

寒い冬、こたつもいいですが、外へ飛び出し、自然がたくさん見られる「桂の泉」を見に来てみませんか。

お知らせ

問 問い合わせ先　申 申し込み先
岩手町役場 ☎62-2111

募集しています

農業の専攻科学生募集

■盛岡農業高特別専攻科

県立盛岡農業高等学校は、特別専攻科の学生を募集します。

【募集学科】 特別専攻科（農業科）
【修業年限】 2年（登校日は週2回）
【募集定員】 20人
【募集対象】 高校卒業または見込みで農業後継予定の人、農業を勉強したい人、畜産関係の資格を取得したい人など
【授業料】 月額2700円（ほかに入学諸納金が必要）
【願書受け付け】 1月18日（金）まで
【試験日】 2月6日（水）
【試験内容】 書類審査、筆記試験、面接
【試験場所】 盛岡農業高等学校内特別専攻科校舎
申・問 盛岡農業高等学校 ☎019-688-4211

土地の境界講座受講者

■法務局市民講座

盛岡地方法務局は、住民が身近な法律に理解を深めるための「法務局市民講座」の受講者を募集します。

【日時】 1月30日（水）午後2時～3時30分
【場所】 盛岡地方法務局4階専用会議室（盛岡市盛岡駅西通1-9-15盛岡第2合同庁舎内）
【講座内容】 「土地の境界について」
【募集人員】 25人
申・問 盛岡地方法務局総務課 ☎019-624-9861

4月入寮の学生を募集

■岩手県学生会館

岩手県学生会館（東京都豊島区要町2-5-5）は、県出身者のための学生寮です。4月から入寮する学生を募集します。

【選考日（面接）】 ○前期2月14日（木）　○後期3月18日（月）
【面接場所】 いわて県民情報交流センター（アイーナ）会議室
【入寮資格】 県出身者（保護者の生活の本拠地が岩手県の人）で寮から通学可能な地域にある大学などに入学する学生
【募集人員】 男子30人程度、女子20人程度
【入寮期間】 入寮後2年間（延長規定あり）
【寮費】 月額8万500円（朝夕2回の食事、共益費、自治会費含む）、入寮時諸費用10万円（入寮金、寮維持資金各5万円）
申・問 （公財）岩手県学生援護会 ☎03-3972-4783

ヘルパー2級の受講生

■訪問介護員養成研修

県高齢者福祉生活協同組合は、訪問介護員（ホームヘルパー）2級課程の養成研修会を開催します。

【対象】 男女、年齢不問
【開催期間】 2月12日（火）～3月25日（月）の全20日間
【会場】 ふれあいランド岩手（盛岡市三本柳8-1-3）
【定員】 40人
【受講料】 6万5千円（テキスト代、実習費含む）
申・問 県高齢者福祉生活協同組合 ☎019-653-5830

行われます

子育て講習会を開催！

■子育て支援センター

町子育て支援センターは、各種子育て講習会を行います。講習会開催中は子育て支援ボランティアによる託児を行いますので気軽に参加ください。

○育児講習 「韓国料理作り」

お子さんでも食べられる韓国料理の作り方を紹介します。

【日時】 1月29日（火）午前10時～
【場所】 子育て支援センター
【講師】 ぴょんぴょん舎 韓佳子（けいこ）オーナー
【費用】 500円
【定員】 10組（先着）
【持ち物】 エプロン、三角巾、ご飯、箸、お茶、タッパー、お子さんの歯ブラシ
【申込期限】 1月22日（火）
申・問 町子育て支援センター ☎65-2131

各サークルが舞台発表

■町公民館まつり

町内各公民館は、各地区で行われている公民館事業を一堂に発表する「第10回いわてまち公民館まつり」を開催します。皆さんで参加ください。

【日時】 2月2日（土）正午～午後3時
【会場】 プラザあい多目的ホール
【内容】 各公民館のサークルの舞台発表など
問 町中央公民館 ☎62-2877

その他

円滑な作業にご協力を

■町の除雪作業

町は、約330キロメートルの道路を町と委託業者で分担して除雪作業を行いきめ細かな除雪を心掛けていますが、気象条件などにより作業が遅れる場合があります。不便をお掛けすることがあると思いますが理解と協力をお願いします。

また、円滑な除雪作業のため、次のことに協力ください。

①除雪作業中は危険ですので除雪車に絶対近付かないでください
②除雪作業により家の出入り口をふさいでしまう場合がありますが、各家庭や近所で協力し合い、手直しをお願いします
③道路に立ててある除雪ポールを抜かないでください
④自転車や自動車など、除雪の妨げになるものを道路に放置しないでください
⑤除雪作業後に道路に雪を出さないでください

問 役場地域整備課地域整備係 ☎62-2111 内線322、323

3月までに手続きを！

■農業振興地域変更申請

町は、平成25年度に「岩手農業振興地域整備計画」の見直しを行います。農地を農地以外の用途に変更する申請は、原則としてこの見直しの時期にしかできません。今後5年間に農地の変更の予定のある人は、3月31日までに申し出の手続きを行ってください。

問 役場農林環境課農林振興係 ☎62-2111 内線303

2年ごとに届け出義務

■調理師の就業届

働いている調理師は、2年ごとに就業届を出すことが義務付けられています。

【届け出の必要な調理師】
○寄宿舎、学校、病院、事業所、社会福祉施設、介護老人福祉施設、矯正施設、その他多人数に飲食物を調理して供与している施設の調理師
○飲食店、魚介類販売業、そうざい製造業に従事する調理師
【届け出期限】 1月15日（火）
問 ○県央保健所 ☎019-629-6566　○県保健福祉部健康国保課 ☎019-629-6569

改正最低賃金653円

■県特定（産業別）最低賃金

県の最低賃金が、最低賃金制度により改正決定されました。使用者も労働者も最低賃金を必ずチェックしましょう。

【県の最低賃金】 時間額653円
【特定（産業別）最低賃金】
○鉄鋼業、金属線製品、その他の金属製品製造業 728円
○電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業 709円
○光学機械器具・レンズ、時計・同部分品製造業 717円
○各種商品小売業 720円
○自動車小売業 739円

詳しくは問い合わせください

問 ○岩手労働局労働基準部賃金室 ☎019-604-3008　○盛岡労働基準監督署 ☎019-604-2530

災害への「備え」を強化

■防災ボランティア週間

阪神・淡路大震災が発生した1月17日は「防災とボランティアの日」。15日から21日までが「防災とボランティア週間」です。同震災や一昨年3月の東日本大震災は、地域住民の防災活動やボランティアの支援が有効なことを貴重な教訓として残しました。この機会に家族や地域の人たちと話し合い、災害への備えを充実・強化しましょう。

また、1月26日は「文化財防火デー」です。国民の財産である文化財を火災から守り次の世代に引き継ぎましょう。

問 盛岡中央消防署岩手分署 ☎62-6119

ヤング散歩 YOUNG No.295

笈口 航 さん

【プロフィル】 おいぐち・こう（19）＝上愛宕下＝。盛岡市立高校を平成22年に卒業し、㈱ザマ・ジャパン（八幡平市）に就職。血液型A型、うお座

中国で卓球をしてみたい

「小学生から続ける卓球は、もう生活の一部になってますね」と話す航さんは、12月に行われた町民卓球大会で個人戦2連覇を達成。「前回大会では初優勝できて本当にうれしかった。今回も勝ててほっとしています」と喜びを語ります。勤めて2年目になる会社では、草刈り機などの農機具に使われるエンジンのキャブレターを製造。「自分が関わったエンジンが発売されるとうれしいですね」と話し、仕事にやりがいを感じています。そんな航さんの理想の女性像は、「柔らかい雰囲気で話しやすい人」だとか。「会社の工場が中国にもあり、経験として一度は行ってみたいです。卓球世界一の国ですから、プレーもしてみたいですね」と爽やかな笑顔で夢を話します。

よろこび　かなしみ

平成 24 年 11 月受け付け分

●お婿さん、お嫁さん●３組（４組）

▼11月

日	お名前	世帯主	行政区
7	髙井澤正雄	本　人	下苗代沢2
	菅原　明子	本　人	下苗代沢2
10	澤瀬　大将	勇	御堂新田
	小田島美佳	本　人	盛　岡　市
27	地舘　久一	清　見	一　方　井
	髙村　奈美	勝　治	下愛宕下

●生まれたお子さん●８人（８人）

▼11月

日	お名前	保護者	行政区
1	小野寺悠ノ助（ゆうのすけ）	洋	二　ツ　森
3	澤口　菜南（なな）	達　也	上野口町
9	宮﨑　蓮士（れんし）	詠　司	舘
9	藤村　千聖（ちさと）	俊　徳	上　大　町
13	久保　満生（みつき）	友　基	上愛宕下
15	三浦　葵唯（あおい）	務	中　田
21	四日市凌我（りんが）	登志明	野　原
21	近藤　美華（みか）	翔　太	下五日市

●亡くなられた人●15人（18人）

▼10月

日	お名前（年齢）	世帯主	行政区
31	宮田　策次（80）	本　人	舘

▼11月

2	千葉　与吉（80）	政　義	笈の口
2	千葉　ミネ（76）	清　衛	葉木田
4	大石　ヤヱ（78）	一　夫	豊　岡
10	千葉　省三（64）	兄　太	山　道
11	佐藤　サト（91）	本　人	二ツ森
12	田中　和雄（84）	仁　志	一方井
14	田村ハルヱ（78）	義　衛	一方井
15	細野　佐吉（94）	睦　男	岩瀬張
17	橘　ハル（82）	金次郎	小金沢
17	武田　美通（65）	和　子	下黒内
18	佐藤　トシ（81）	本　人	橋　場
21	岩舘　サメ（92）	本　人	半在家
26	帷子　種吉（80）	ツルノ	駅　通
29	大村　谷藏（76）	光　彦	万　部

組数、人数の( )内は実数です。お婿さんお嫁さんは、結婚して町内に住所がある人を掲載しています。
広報に掲載を希望しない人は、届け出のときに町民課にお話ください。

子どもの急な病気は

こども救急相談電話

【受付時間】　午後7時～ 11時（年中無休）
【電話番号】　局番なしの☎＃8000（ＰＨＳ、ダイヤル式回線電話、ＩＰ電話は☎019-605-9000）

診療時間外の受診

■症状が軽い場合
【受診場所】　盛岡市夜間急患診療所
盛岡市神明町3-29盛岡市保健所2階　☎019-654-1080
【受付時間】　午後7時～ 11時

■症状が重い場合
【受診場所】　小児救急入院受入当番病院
下記予定表のとおり

日	月	火	水	木	金	土
		1/1 川久保	2 中央	3 日赤	4 医大	5 こども
6 中央	7 日赤	8 川久保	9 中央	10 医大	11 中央	12 日赤
13 医大	14 中央	15 川久保	16 医大	17 中央	18 中央	19 こども
20 日赤	21 医大	22 中央	23 中央	24 日赤	25 医大	26 中央
27 医大	28 中央	29 日赤	30 中央	31 医大	2/1 中央	2 こども
3 医大	4 日赤	5 川久保	6 中央	7 中央	8 医大	9 中央
10 日赤	11 医大	12 川久保	13 中央	14 日赤	15 医大	16 こども

【受付時間】　午後5時～翌朝9時、土曜日は午後1時～ 5時
【対象】　症状が重く入院が必要と思われる子どもと、盛岡市夜間急患診療所や休日当番医が診療していない時間帯の急病の子どもを受け入れます
【注意点】　日中の診療時間に受診できる人は、時間内に受診しましょう。また、重症な子どもの治療に支障をきたさないよう、まずは盛岡市夜間急患診療所を受診しましょう。日曜、祝日の日中は休日当番医を受診してください

■当番病院の連絡先
【中　央】　県立中央病院
盛岡市上田1-4-1　☎019-653-1151
【日　赤】　盛岡赤十字病院
盛岡市三本柳6-1-1　☎019-637-3111
【医　大】　岩手医科大学附属病院
盛岡市内丸19-1　☎019-651-5111
【こども】　もりおかこども病院
盛岡市上田字松屋敷11-14　☎019-662-5656
【川久保】　川久保病院
盛岡市津志田26-30-1　☎019-635-1305

「こころといのちを支えるいわて」
ひとりで悩まず下記にご相談ください。

■盛岡いのちの電話☎ 019-654-7575（正午～午後９時、日曜日のみ午後６時まで）　■県精神保健福祉センター☎ 019-622-6955（午前９時～午後４時 30 分）■役場健康福祉課　☎ 0195-62-2111（内線 518）

町民カレンダー

１月の行事予定

日（曜）	時間	行事名	場所
1（火）	9:00 ～	2013年第39回町元旦健康マラソン大会（開会式８：40 ～、プラザあい内）	プラザあい周辺発着
5（土）	9:00 ～	新春囲碁将棋大会	ゆはず交流館
	9:00 ～ 16:00	町小中学校・高校絵画コンクール作品展（～ 27 日）	石神の丘美術館
6（日）	10:00 ～ 12:00	町消防出初式	役場駐車場ほか
9（水）	12:45 ～	１歳６カ月児健康診査（平成23年５月15日～７月９日生まれ）	町保健センター
10（木）	9:45 ～ 12:00	離乳食教室（平成24年９月生まれのお子さんの家族）	町保健センター
	13:30 ～ 15:30	福祉のしごと定期出張相談 in 岩手町	プラザあい
12（土）	10:00 ～ 12:00	文章講座中級編第１回	ゆはず交流館
13（日）	13:30 ～ 15:30	町成人式（受け付け 12：30 ～）	プラザあい
17（木）	10:00 ～	まんまと湯っこの会	老人福祉センター
18（金）	9:00 ～ 12:00	人権・行政相談	町勤労青少年ホーム
19（土）	10:00 ～ 12:00	文章講座中級編第２回	ゆはず交流館
22（火）	12:30 ～ 12:45 ～	９カ月児健康診査（平成24年４月生まれ） ６カ月児健康診査（平成24年７月生まれ） １歳児健康診査（平成24年１月生まれ）	町保健センター
23（水）	10:00 ～ 15:30	盛岡年金事務所出張相談（要予約：盛岡年金事務所☎019-623-6211）	ゆはず交流館
24（木）	10:00 ～	子育てサロン“すくすく”※生後から未就学児とその保護者が対象です	町保健センター
26（土）	10:00 ～ 12:00	文章講座中級編第３回	ゆはず交流館

２月の行事予定

日（曜）	時間	行事名	場所
2（土）	9:00 ～ 16:00	町書初めコンクール入選作品展示会（17 日まで）	石神の丘美術館
	12:00 ～	第10回いわてまち公民館まつり	プラザあい
3（日）	9:00 ～	町教育を高めて進む町づくり大会	森のアリーナ
6（水）	9:45 ～ 12:00	離乳食教室（平成24年 10 月生まれのお子さんの家族）	町保健センター
7（木）	13:30 ～ 15:30	福祉のしごと定期出張相談 in 岩手町	プラザあい
8（金）	9:30 ～ 12:00	妊婦教室１回目（平成25年３月～７月出産予定の女性）	町保健センター

※広報掲載後に予定が変更になる場合もありますが、そのときは、回覧や広報などでお知らせします。なお、町内の団体などもこの欄をご利用ください。

町県民税（第４期）、**国民健康保険税・後期高齢者医療保険料**（第７期）の納付期限は**1月31日(木)**です
※口座振替の場合は１月 25 日（金）に指定の口座から引き落としになります

休日当番医

【受付時間】　9:00 ～ 17:00

１月

日（曜）	当番医
1（火）	沼宮内地域診療センター
2（水）	さわやかクリニック
3（木）	佐渡医院
6（日）	塚谷医院
13（日）	さわやかクリニック
14（月）	岩手沼宮内クリニック
20（日）	北上脳神経外科クリニック
27（日）	一方井診療所

２月

3（日）	沼宮内地域診療センター
10（日）	佐々木医院
11（月）	岩手沼宮内クリニック

町内病院の電話番号

▶一方井診療所　☎62-2659
▶岩手沼宮内クリニック　☎61-2025
▶北上脳神経外科クリニック　☎61-3636
▶佐々木医院　☎62-2234
▶佐渡医院　☎62-3211
▶さわやかクリニック　☎62-2043
▶塚谷医院　☎62-1155
▶県立中央病院附属沼宮内地域診療センター　☎62-2511

県立中央病院附属沼宮内地域診療センター診療科

診療科	診療日	受付時間
内　科	月曜～金曜日	8:30 ～ 11:00
外　科	月曜～金曜日	8:30 ～ 11:00

１月の応援診療科

診療科	診療日	受付時間
脳神経外科	8 日	8:30 ～ 11:00
循環器 (内科)	7、21 日	13:00 ～ 15:30
高血圧・糖尿病外来	16 日	8:30 ～ 完全予約制
小児科	11、25 日	13:00 ～ 16:00
皮膚科	8、22、29 日	13:00 ～ 15:30
耳鼻咽喉科（いんこう）	休診	—
整形外科	4、18 日	8:30 ～ 11:30

※休日当番医、応援診療科は予定を変更する場合がありますので、あらかじめ電話で確認の上、来院ください。

広報いわてまち
町のいまを伝える
Iwate-machi Monthly Public Relations Paper
No.643
2013年【平成25年】1月1日発行

■編集／岩手町企画商工課
〒028-4395 岩手県岩手郡岩手町五日市10-44
TEL0195-62-2111　FAX0195-62-3104
URL　http://www.town.iwate.iwate.jp

■人口の動き（H24.11.30現在）　※（）内は前月比
人口/男7,419（△4）、女7,748（3）計15,167（△1）、世帯/5,480（8）
出生/8、死亡/18、転入/27、転出/18、外国人住民/118人
※住民基本台帳法に基づき、人口、世帯数は外国人住民を含む数を掲載しています

道の駅 石神の丘 旬情報

おかげさまで10周年

北緯40度 岩手町

道の駅「石神の丘」は、平成14年7月にオープンしてから10周年を迎えました。
町内外のモノとヒトが行き交う道の駅と、隣接する石神の丘美術館から、旬の情報を届けます。

今年のえとへびが石神の丘に仲間入り

平成25年は、巳（み）年。石神の丘にも赤い舌をペロリと出し愛嬌ある顔をした「へび」が登場しました。

組合員の戸埜村正さんが作る木彫りの十二支は、道の駅オープンの年に作られた「さる」から始まり、10周年を迎えた今回、「へび」が仲間入り。正さんは「珍しさに人が集まり、産直が繁盛することを願って作り始めました。道の駅を訪れる多くのお客さんに楽しんでもらいたい」と作品に込める思いを話します。

「へび」の制作には、ヒバの木を使用。チェーンソーで型取りし、電動工具などで細部を仕上げ、塗装して完成させました。制作期間は約3カ月。図鑑を片手に、ヘビの形や色など特徴を研究した力作です。

「へび」が加わり10作になった十二支の動物たちは、産直の入り口で布袋様と共にお客さまを迎えています。買い物と一緒にお楽しみください。

産直組合員
戸埜村（とのむら） 正（まさし）さん（75）＝江刈内＝

工芸は「趣味」と言う正さんですが、自宅脇の作業小屋には「戸埜村工芸工房」と看板を掲げ、産直でも作品を販売する本格派。「不景気な世の中ですが、道の駅がますます繁盛して、いい年になれば」と巳年に期待を込めます。

平成24年度　石神の丘美術館

岩手町 小中学校・高校絵画コンクール作品展

今年度のテーマは「みんなで守ろう　岩手町の自然」と「石神の丘美術館を題材にした作品」です。この展覧会では、応募作品391点すべてを展示します。

入場無料

会　　期：1月5日(土)～27日(日)
開館時間：午前9時～午後4時
休 館 日：1月7日(月)、15日(火)、21日(月)

【問い合わせ先】　石神の丘美術館 ☎62－1453

○入賞者紹介

◇小学校低学年の部
《最優秀》　藤沢纏伊（まとい）（沼宮内小2年）ほか入賞8人

◇小学校高学年の部
《最優秀》　斎藤璃子（川口小5年）ほか入賞9人

◇中学校の部
《最優秀》　佐藤宏紀（川口中2年）ほか入賞3人

◇高等学校の部
《最優秀》　田村祐喜（沼宮内高1年）ほか入賞7人

ミニミニ mini mini ランキング

今月は産直の時間帯別1日の平均買い物客数

順位	種　類	人数
1	12:00 ～ 13:00	121
2	13:00 ～ 14:00	108
3	14:00 ～ 15:00	91

（11/20～20「石神の丘」調べ）

編集後記

新年、明けましておめでとうございます。

今年最初の「広報いわてまち」も最後まで読んでいただきありがとうございます。

昨年町では、道の駅「石神の丘」や「いわて沼宮内駅」が10周年を迎え、町出身の岩崎茂さんや田中泉樹さんをはじめ、多くの人が活躍されました。2012年の世相を表した漢字（日本漢字能力検定協会発表）は「金」でしたが、私の取材先でも町の皆さんが「金ピカ」に輝いているように見えました。2013年も輝きをそのままに「ステイゴールド」で行きましょう！

今年もよろしくお願いします。

（佐藤）